

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	ソーシャル・コンピューティング (荒牧 英治 (教授))		
学籍番号	2111052	提出日	令和 5年 1月 19日
学生氏名	太田 暢		
論文題目	ソーシャルメディアデータを用いた放送番組の聴取体験向上		
要旨			
<p>音声メディアの代表格であるラジオは、日本においては2010年代に各種インターネットサイマル配信サービスが整備されスマートフォンやPCで放送を聴取することが可能となり、地理的・時間的制約を克服したアクセスしやすいメディアとして再注目されるようになった。</p> <p>放送後に番組を聴取するリスナーのうち、運動中や通勤時などの限りある時間の中で聴取したいと考えるリスナーには、制限時間内に一部始終を一度に聴取出来ず、中断の度に遡って再生することになったり、中断したまま聴取期限が過ぎてしまうといった不便が付き纏う。そこで本研究では、Twitterのデータを用いてラジオ番組の音源を圧縮する手法を提案することでラジオリスナーのユーザ体験向上を試みた。具体的には、放送時間中のハッシュタグ付きツイートの投稿数、およびツイートの言語的一様率に基づき番組内で盛り上がった箇所以外を優先的に高速化し、それ以外の箇所は等倍に近い速度に調整して、後から番組を聴くユーザが指定した制限時間内に放送音源を圧縮する手法を二つ提案する。倍速加工を施した音源の比較評価実験の結果、番組における文脈を考慮して再生速度を変更する手法を適用した音源が最も正しく圧縮され、満足度が高いことがわかった。</p>			